

ひまねき

警固屋学園通信 第113号
令和2年12月11日 発行

参観日を実施しました

感染対策を講じながら実施しました。



警固屋小学校では、十月十七日（火）今年度初めての参観日（道徳科）を行いました。参観については一家族一名の参観者とし、参観は十五分のみ、教室の窓は全部取り払って、廊下からの参観をお願いしました。新型コロナウイルス感染症防止のため、例年とは少し変わった参観日となりました。また、本来であれば、十月の参観日は、地域公開参観日となっていて、地域の方にも子供達の様子を見ていただく機会となっていました。残念ながら参観していただくことができませんでした。

子供達は、今年度初めての参観日に、ドキドキしながらも真剣に授業に取り組むことができました。

小学校では、十月十二日～十一月十六日の期間で「いじめ撲滅キャンペーン」の取組を

行いました。道徳科参観日は、その一環として、「いじめを絶対に許さないという心を育て」ことをねらいとして、各学年がそれぞれのの実態に合わせたテーマで授業を行い公開しました。

5年生
資料名:「戦後おやてきた」
主題名:公平心



3年生
資料名:「なまよしたから」
主題名:本当の友達



2年生
資料名:「おびものさし」
主題名:勇気をもって



6年生
資料名:「銀のしよく台」
主題名:過ちを許す



4年生
資料名:「ぼくらだってオーケストラ」
主題名:良さを認め 助け合う友情



2年ひわり
資料名:「うーぱくわく」
主題名:親力のよさ



1年生
資料名:「こころはっぱ」
主題名:友達っていいな



講演会を実施しました

中学校では、十一月一日（日）に講演会が行われました。少年少女国連大使の経験がある呉三津田高等学校一年生、高橋愛実さんをお迎えし、「SDGsについて私たちにできること」というテーマでお話ししていただきました。私たちがつくる持続可能な世界を実現するために必要なことや、マイクロビーズなどプラスチック製品が海の生物に与える影響について教えていただきました。プラスチック製品をなるべく使わないことや、「再利用」・「リサイクル」・「減らす」・「修理する」・「無駄をなくす」5つの行動（5R）をみんなが意識する（Awareness）という「5R+A」を心がけることの大切さを学びました。



四・九バリ活動（よくばり活動）が行われました



十一月十七日（火）に、

四・九活動を行いました。

「異学年交流」は警固屋学園で行われている小中一貫教育の取組の一つになっています。



今年度は、コロナウイルス感染症対策の影響もあり、小学生と中学生が同じ場所に集まって活動することが困難な状況です。しかし、「この状況でも何か交流はできないか」と考えた結果、「リモートで交流できる」ということで今年度も交流を行いました。

九年生が四年生のために、リモートでのクイズ大会を企画しました。クイズの内容は、警固屋の地域・学校に関係していることで、四年生

にとつて身近な内容となるように、中学生が考えました。九年生は、最高学年として自覚を持ち活動することを目的としました。四年生はそんな九年生の姿を見ることが上級生としての理想の姿を身につけていこうとする力を持たせることを目的としました。

四年生は、これまでの交流でお世話になっていた九年生との活動を、楽しみにしていました。当日は、九年生が考えたクイズの答えを必死に考え、全力で楽しんでいました。九年生は、四年生の姿に成長を感じながら共に活動できる喜びを実感したのではないのでしょうか。

このような社会状況の中で、「できない」ではなく「できることはなんだろう」と考え、実行できる警固屋学園の児童生徒の力が存分に発揮できた活動となりました。



〈九年生の感想〉

- こんな大変な時期でも、「リモート」という形で交流することができて、本当に良かったです。
- 「相手を楽しませるには」「相手の立場になって」という意識を身につけることができたと思います。
- 自分達で計画したことを小学生に楽しんでもらって、すごく達成感がありました。
- この三年間の交流で、（私たちが小学生のころ）中学生がどれだけ私たちのためにがんばっていたのかを学ぶことができました。

〈四年生の感想〉

- 警固屋の地域のことをたくさん知ることができました。リモートでも楽しめて良かったです。
- 九年生がいろいろなものを用意してくれたこと、がうれしかったです。
- 難しいクイズもあったけど、九年生がヒントを出してくれたので分かりました。楽しかっただけでなく、警固屋の歴史を知ることができたので良かったと思います。

《編集後記》

ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。